

うちなー地域づくり大賞受賞団体

特定非営利活動法人

奨励賞

こども家庭リソースセンター沖縄

こどもと家族全体のウェルビーイング(幸せ)が、
よりよい社会づくりへとつながる好循環を未来へつなげたい。

「愛されて育てば人を愛する大人になる。社会に愛されて育てば社会の大事な人財となる。」こどもと家族全体のウェルビーイングを理念に、沖縄の家族福祉活動を実践している。

2000年にスタートした保育サービス「ていーだ」の自主活動が、沖縄県初の沖縄市ファミリーサポートセンターの誕生に寄与。また、さまざまな課題解決のために「ていーだ基金事業」や「ファミサポ相談室アンダンテ」等を実施。他にも、こども正月、子ども体験プロジェクト等の活動を幅広く展開することにより、沖縄市内はもとより、沖縄県の子育て家庭の支援に取り組んでいる。



ゆいまーる精神旺盛なマンパワーで沖縄の宝を守り育てる

保育サービス「ていーだ」の活動から早20年以上となり、利用している子どもや子育て家庭だけでなく、地域の居場所となる等周りにも影響を与えている。将来を担う子どもや子育て家庭が幸せに暮らしていけるようサポートしており、現在のみならず将来にわたり沖縄らしい優しい社会形成に貢献。

ファミリーサポートセンターの事業継続のために、賛助会員などNPO活動への賛同者を増やすことにも積極的に取り組んでいる。

・「ていーだ基金」

子育て支援が必要な経済的困難家族が、ファミリーサポートセンター利用料を、独自発行したチケット(ていーだチケット)で支払う仕組み。会員からの支援金や寄付を資金としている。

・「こども体験プロジェクト」

水着でプールに入ることがない等、経済的理由によりさまざまな経験ができていない子どもたちに、水着の提供、プール、畑仕事、にわたりの世話、バーベキュー、自転車の練習等、幼少期に体験してほしいコンテンツを提供。

・「こども正月」

お年玉をもらうことができない子ども達がいることを知ったことをきっかけに、お年玉やランドセル、入学用品を贈呈。ロック経験やエイサー・ダンス・三線の観賞等、地域の人や文化を受け入れながら活動している。

カテゴリー	子どもの健全育成／健康・福祉／地域の魅力発見／観光・地域交流		
住所	沖縄市中央3丁目15番5号(1F)	電話番号	098-938-9244
設立	活動開始: 2000年9月21日 法人設立日: 2007年3月30日	人数	150名
主な活動	沖縄市内はもとより、沖縄県の子育て家庭への支援取り組み		
受賞歴	2012年 タイムス地域貢献賞 2019年 沖縄タイムス社会活動賞		

県内初のファミリーサポートセンター事業を設立

沖縄市は多様な文化の集合体であり、人を活かす素地が備わっていると捉え、他地域にはないこどもと家庭との関わり方を模索。エイサーのまちを謳う沖縄市で、子どもたちはエイサーの真似をし、楽しみながらセンターを利用している。

また、当該センターは親子の安全基地、垣根の低いみんなの居場所としての役割も果たしている。多くの親子が利用しやすい環境を提供することにより、子育て支援地域として地域の魅力創造の一翼を担い、所在地のパークアベニュー通りに人々が増加した経緯の一要因となった。当該センターの活動は、沖縄県全体の社会問題にもなっているこどもの貧困対策として力を入れている虐待の未然防止、保護者の就労・自立支援、こどもの体験学習支援等につながっている。



夢と希望と思いやりが好循環するやさしい社会を目指して

こどもたちが夢や希望をもって生きていける社会にするためにできること。それは、命の始まりを大切にすること。どんな環境下で生まれたこどもに対しても「愛ある家庭」を築き上げ、「社会全体で子育てする意識変革」を実行する。そのために子育て支援施策を作りたい。「子どもの貧困」は世代間連鎖が要因。自己肯

定感が低い子どもの多さ等の実態を知り、分析・研究し、次世代の健やかな育ちに役立てる仕組みの再構築につなげる。

また、外国籍の子どもも多いことから、多言語・多文化を理解し、こどもたちの遊びに活かすことができる国際的保育士養成を始めることも視野に入れている。